

2018年度春学期 セメスター語学留学

Letters from Manitoba

2018.9.6

皆さん、こんにちは！ウィニペグでの留学を通し、様々な国籍の留学生と友達になり、素敵なホストファミリーと出逢い、とても充実した毎日を送っています！そんな楽しい5か月間のウィニペグ生活も、あと残すところわずかとなってしまいました。



ウィニペグは、4月中旬でも路上に雪が残り、体感-20℃を超える雪の日もあります。5月になると、カラッとした晴れの日が続いて、夜10時頃まで外は明るくなり、街は一気に活気づきます。パティオでお茶を飲んだり、バーベキューをする楽しみも増えます。夏は、野外イベントも多くなります。7月1日のカナダデーでは、プレッツェルまでカナダカラーに変わり、夜の花火にも感動しました。8月には、“FOLKLORAMA”という多文化フェスティバルが2週間に渡って開催され、世界各国の文化がウィニペグに集結しました。私はボランティアに申し込み、日本パビリオンでお手伝いをし、貴重な体験ができました！今では肌寒い日が増え長袖が必要になり、短い夏も終わろうとしています。

マニトバ大学はとても広く、校内にはジムやビリヤードルーム等の施設が充実していて、放課後に利用しています。売店では何でも売っていて、早速マニトバ大学のロゴ入りパーカーやボトルを買いました。お気に入りです！



カフェ巡りでは、海外ならではのカラフルなトッピングやその種類の多さに気分が上がります！アイスやドリンクのサイズの大きさには驚きましたが、今では普通に飲んでいます！

地元のスポーツも盛んです。私のホストファミリーは、地元チームのアイスホッケーの試合の日は毎回友達を家に呼び、皆でユニフォームを着て夜遅くまでテレビ観戦をしました。また、マザーに地元チームのTシャツを借りて、プロのチームのフットボール観戦ができたことは最高の思い出です！大いに盛り上がりました！



また、あまり知られていませんが、「くまのプーさん」はウィニペグが発祥の地という説もあります。“Winnie-the-Pooh”は“ウィニペグのプー”という意味だとか。

カナダといえば、メイプルシロップです。お店には沢山並んでいて、お土産に買って帰ろうと思います。また、名物のプーティンもとても美味しいので、カナダを訪れたら是非食べてみて下さい！



(社会システム学科2年次生 M.S.より)